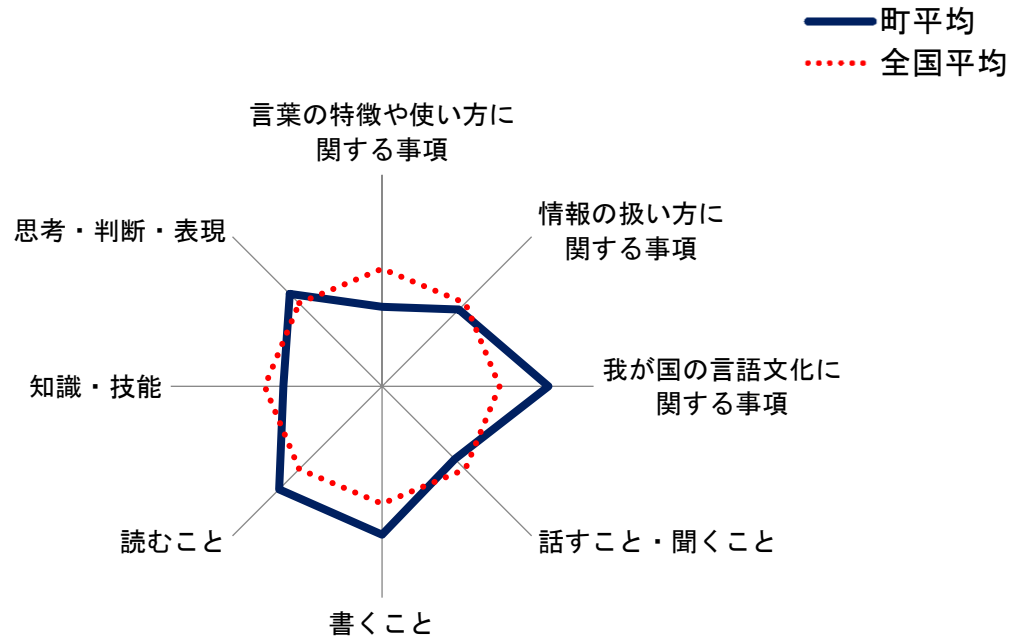
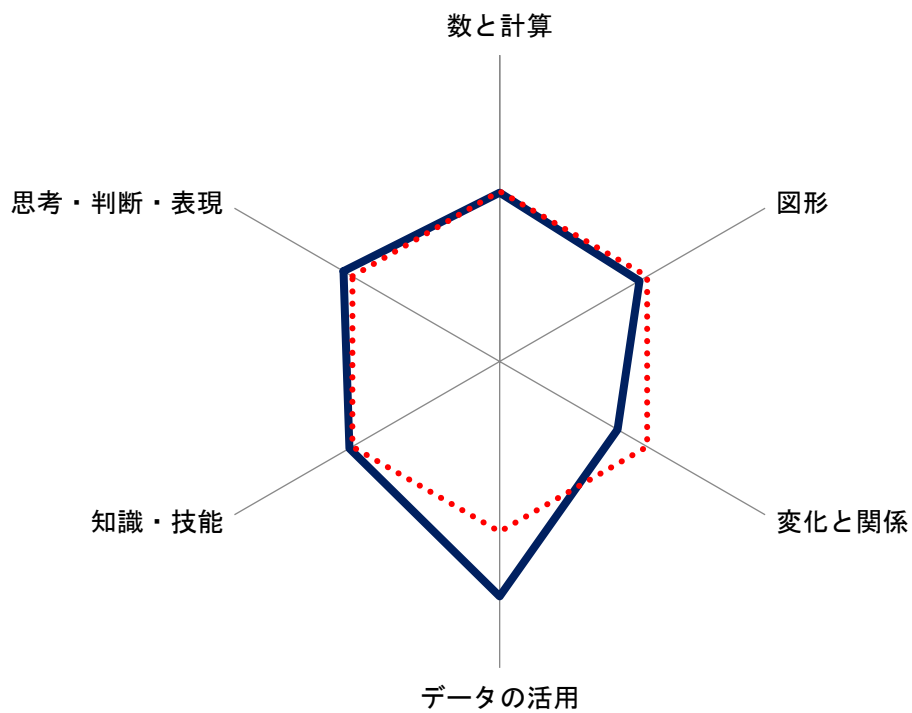


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

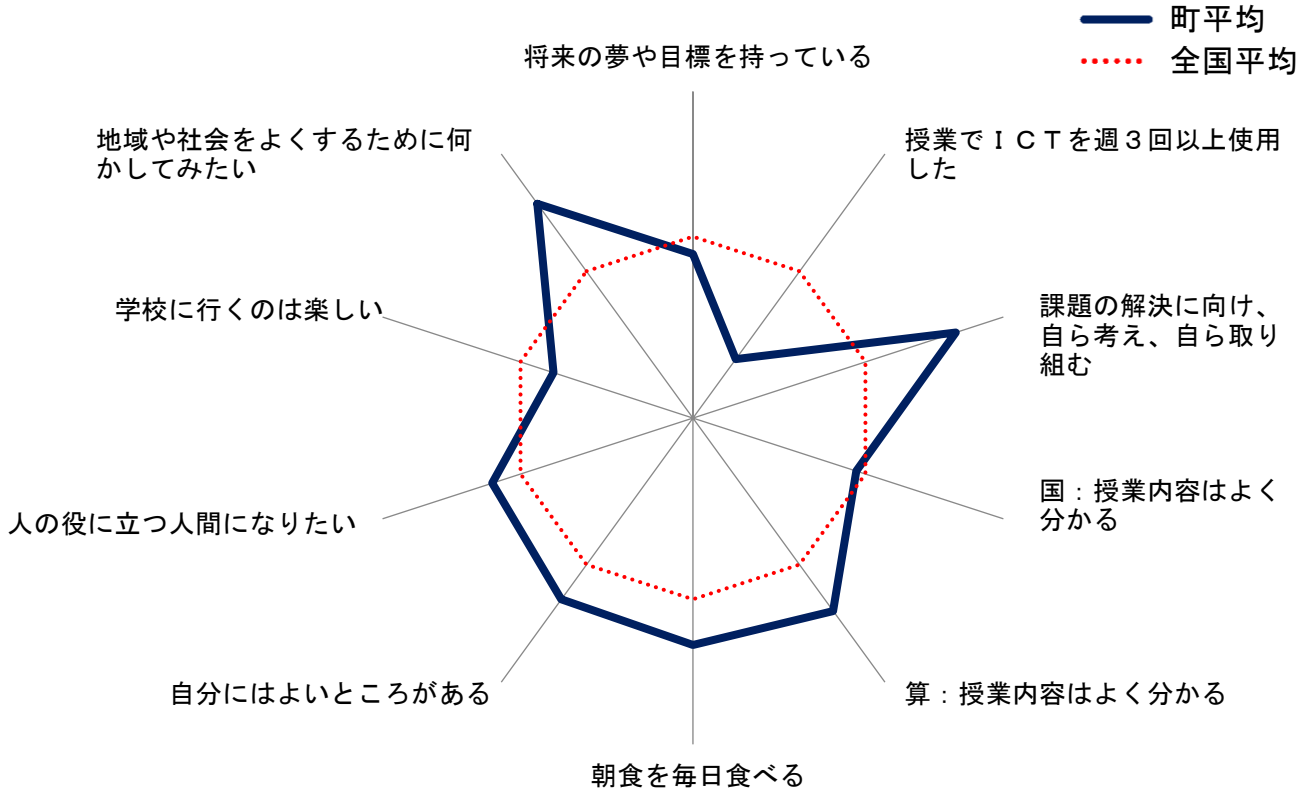
【国語】



【算数】



○ 児童質問調査 (全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語の「我が国の言語文化に関する事項」や算数の「データの活用」の項目が全国平均を大きく上回っており、極めて良好な結果である。一方、国語の「言葉の特徴や使い方に関する事項」は、全国平均を大きく下回っており、知識及び技能の定着に課題が見られる。今後は学力の定着と向上に向けて、実態に応じたきめ細かな指導を継続することで、基礎的な知識及び技能の定着を図ることが望まれる。

児童質問調査では、「地域や社会をよくするために何かしてみたい」「課題の解決に向け、自ら考え、自ら取り組む」などの項目が全国平均を大きく上回っている。一方、「授業でICTを週3回以上使用した」の項目は、全国平均を大きく下回っており、ICTの積極的な活用について課題が見られる。今後も、地域社会に貢献できる人材育成に向けて、学校、家庭、地域が一体となった教育活動を一層推進するとともに、アナログとデジタルそれぞれのよさを適切に生かした質の高い授業改善に取り組むことが望まれる。